

2016年09月28日

スマートデバイスによる属性データ・位置情報と連携

経済産業省「IoT活用おもてなし実証事業」(関西/大阪) 10月1日より新技術による訪日外国人向け先進体験実証をスタート パーソナルな情報発信・カードレス決済の提供により送客・消費促進を実現

パナソニック システムネットワークス株式会社(以下 パナソニック)は、経済産業省の公募事業の委託を受け、三井住友カード株式会社(以下 三井住友カード)大日本印刷株式会社(以下 大日本印刷)との協働プロジェクトとして、2016年10月1日より2017年2月12日(予定)まで、関西国際空港(関西エアポート株式会社)なんばCITY(南海電気鉄道株式会社)天保山マーケットプレース(株式会社海遊館)を実証フィールドとした訪日外国人に対する高度で先進的な決済・サービス等の新たな旅客体験を提供する実証実験を開始します。



<経済産業省「IoT活用おもてなし実証事業」(関西/大阪)イメージ>

本実証では 全国共通IDサービス基盤※1に登録された訪日外国人の基本属性情報との連携や、訪日外国人が利用するスマートフォンアプリの利用履歴等による位置情報・嗜好情報を活用することにより、一人ひとりの訪日外国人に有益なコンテンツをタイムリーに届けるサービスプラットフォームの実現を目指しています。

本年度の実証においては、WEB・SNS等のオンラインメディアを通じた観光情報提供による旅前からの観光誘客施策に加え、空港・鉄道改札口・商業/観光施設等での各スポットにデジタルサイネージを配置※2することで、オンラインメディア連携の途切れない情報配信基盤を構築。また、デジタルサイネージには光ID送信機能搭載モデルを活用。実証参加店舗に設置する光ID看板を含めて、スマートフォンをお使いの訪日外国人向けに、見る人の母国語で情報提供を行う多言語情報サービスを提供します。

また、購買データを含めた行動履歴の蓄積・解析によるレコメンド機能も実装し、送客・消費促進サービスの高機能化の検証を行うと共に、カードレスでショッピング・グルメ体験を実現する手のひら認証決済サービス※3の検証も実施します。

※1:経済産業省が、構築・実証を推進中の訪日外国人の属性情報・行動履歴等を事業者間で活用することを可能にするサービス「おもてなしプラットフォーム」

<http://www.meti.go.jp/press/2016/09/20160928001/20160928001.html>

※2:光ID送信機能対応デジタルサイネージを以下の4ヶ所に設置します。

関西国際空港 国際線到着ロビー、南海電気鉄道/関西空港駅構内、なんばCITY免税カウンター前、天保山マーケットプレース

※3:大日本印刷が提供する個人認証・決済サービス。

【具体的な実証サービスについて】

本実証においては、以下の3つのサービスの実用性検証のほか、訪日外国人向け旅行メディアを軸とした送客・誘客施策の有効性の検証、及び、実証参加促進策としての誘客イベントを施策も実証の取組として実施します。

(1) 光ID多言語情報サービス

光ID送信機能を搭載したデジタルサイネージ及びLED看板を用い、訪日外国人向けに見る人の母国語での情報提供を行います。(対象言語: 英語、中国語(簡体・繁体) 韓国語、タイ語)

また、利用者の属性に応じたレコメンド機能=情報出し分け機能を実装し、母国語での分かりやすい情報表示に加えて、見る人に合わせた情報表示による送客・誘客効果の検証も併せて実施します。

[実施場所]

- ・デジタルサイネージ設置場所: 関西国際空港、南海電気鉄道関西空港駅、なんばCITY(各1台) 天保山マーケットプレース(2台)
- ・光ID 看板設置場所: 天保山マーケットプレース(実証参加の27店舗) なんばCITY※4(国慶節イベントに参加する10店舗)

※4: なんばCITY(南海電気鉄道株式会社)が、国慶節期間中に実施する訪日外国人向け催事の一つのイベントとして、実施いたします。



<光ID多言語情報サービス実証イメージ>

(2) インタラクティブショッピングサービス(店舗向け)

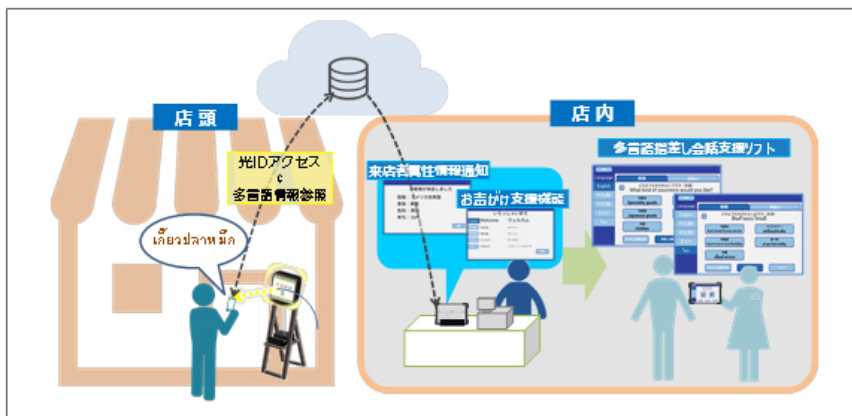
訪日外国人客をお迎える店舗向けに、来店した訪日外国人との店員とのコミュニケーションをサポートするためのタブレット指差し会話支援ツールに加えて、光ID多言語情報提供サービスで用いる光ID看板と連携した来店者通知サービスを提供。

店頭で光ID看板にスマートフォンをかざしている外国人の基本属性(国籍等)を店内に設置したタブレットに通知することで、店員からお客様へのお声がけをサポートします。

[実施場所]

- ・天保山マーケットプレース(実証参加 27店舗)
- ・なんばCITY※4(国慶節イベントに参加する10店舗)

※4: なんばCITY(南海電気鉄道株式会社)が、国慶節期間中に実施する訪日外国人向け催事の一つのイベントとして、実施いたします。



<インタラクティブショッピングサービス実証イメージ>

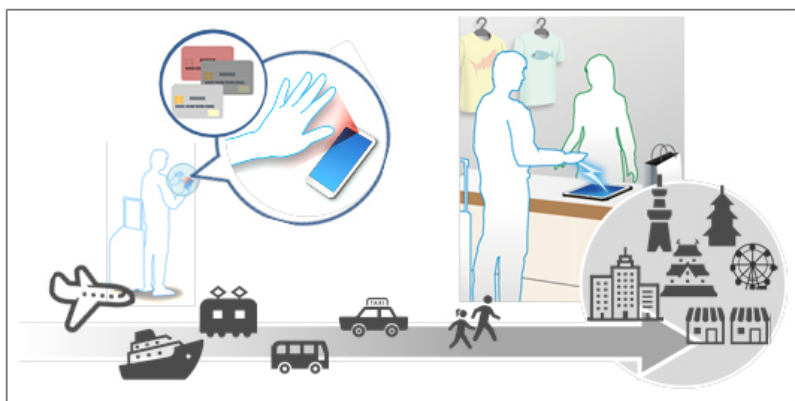
(3) 手のひら認証決済サービス

訪日外国人客及び店舗側の決済利便性の向上に向け、生体認証(手のひら認証)決済サービスの試行を、天保山マーケットプレースにて実施します。

利用者は事前ダウンロードしたスマートフォンアプリを用いて、ご自身で掌紋(手のひら)を撮影、決済に利用するクレジットカード情報と併せて、手のひら認証決済サービスに登録することで、対象店舗での買い物時には、手のひらを店舗設置のタブレットにかざす「かんたん決済」を実現します。

[実施場所]

・天保山マーケットプレース 実証参加 25店舗



<手のひら認証決済サービス実証イメージ>

(4) 訪日外国人向け旅行メディアを軸とした送客・誘客施策の有効性検証

三井住友カードが新たに提供する訪日外国人向け旅行メディア「JOURNEY of JAPAN」による観光地・観光施設の紹介及び同スマートフォンアプリを用いたクーポン配信機能を連動させ、送客・誘客を促す情報提供サービスを本実証において活用いたします。

光ID多言語情報提供サービスも含め、オンライン・オフラインを融合させた情報提供と訪日外国人の属性に応じた情報提供を組合せることでの送客・誘客効果の検証も同時に行います。

[JOURNEY of JAPAN概要]

三井住友カードが2016年10月1日(土)より、開設・情報発信を開始する訪日外国人旅行者向けWEBメディア。

実際に日本を訪れた「訪日顕在層」に加え、訪日旅行に興味・関心があるが日本をまだ訪れていない「訪日潜在層」にもアプローチする新たなWEBメディアとして、訪日外国人との新たな接点の獲得を目指すとともに、日本全国の三井住友カード等の加盟店※5への訪日外国人送客等により「地方創生」に貢献するプラットフォームとして構築。

WEBサイトとスマートフォン用アプリケーションを組み合わせでご利用頂くことで、旅前から旅行中まで、訪日外国人旅行者をトータルにサポートすることが可能。

観光情報や加盟店の情報等を発信することで、訪日外国人の観光地や加盟店への送客を行うとともに、加盟店にとってWEBサイトでの幅広いPRに加え、アプリでの効果的な集客が可能となるプラットフォームとして提供予定。

※5: 三井住友カードをはじめとするVJA加盟各社との契約によりVisa・Mastercard・銀聯等を取扱う店舗

【参加促進施策について】～イベント企画「Takoyaki Rally」～

本実証における誘客施策の一環として、光ID多言語情報提供サービスと連携したモバイルスタンプラリー「Takoyaki Rally」を期間限定イベントとして実施します。

(1) 10/1～10/7 実施場所: なんばCITY※4

(2) 10/8～10/14 実施場所: 天保山マーケットプレース

※4:なんばCITY(南海電気鉄道株式会社)が、国慶節期間中に実施する訪日外国人向け催事の一つのイベントとして、実施いたします。

【3社の役割】

パナソニック:実証とりまとめ、サービスコンテンツおよびシステム導入とりまとめ ほか

三井住友カード:加盟店契約、旅前・旅中プロモーション ほか

大日本印刷:手のひら認証決済サービス ほか

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。